

今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

開催地：茨城

グループ：5班

2023.08.23

どんな人でもICTを活用できる 社会を目指して

障がいの有無や年齢、国籍によらず、誰もがICT機器を使いこなせるようになり、情報格差を軽減させる社会を実現させるため生成AIなどを活用したwebアクセシビリティの向上を実現させて欲しいです

現状

● 様々な人がICT機器を活用するようになった

○ 年齢

- 小学生以下、中学生、高校～20代、30代から65歳以下、
高齢者

○ 言語

○ 国籍

○ 障がい

- 色覚特性

- 目が見えない etc...

どんな人でもICTを活用できる世界
が必要とされている

現状のけしからん問題

● 文字入力の個人格差

- タイピング、音声入力、フリック入力、トグル入力
 - 音声入力は楽で速いけど精度があまりよろしくない...

● アクセシビリティの問題

○ 色覚特性

○ 文字のサイズ

- 個人によってみやすい文字のサイズは異なる

○ 文章の読みやすさ

- 小学生にとっては漢字が読みにくい
- 外国人の方にとっては母国語等への翻訳が必要
- 目の見えない方にとっては文章が読めない

アクセシビリティの普及 & 生成AI技術等の活用

アクセシビリティ

- webアクセシビリティって？
 - 誰でもwebの情報にアクセスしやすくしよう！
- 具体例
 - サイトがスクリーンリーダーによって順番に読み上げられるように
 - 漢字が読めないためふりがなをふる
 - 誰にでもみやすい文字のサイズにする
 - 根本的に蛍光色などの色を使わない
- 省庁・自治体のサイトでもアクセシビリティへの配慮を

アクセシビリティ（例）

けやき祭とは

けやき祭は、毎年6月上旬に行われる、茨城県立古河中等教育学校（通称:古河中等）の文化祭です。

けやき祭当日には、校内にテーマに沿った装飾が施され、普段授業を行っている教室が一変。さまざまな模擬店や展示が行われます。体育館では、生徒による歌やダンス、演劇や演奏などの発表が行われ、生徒の日頃の努力の成果を発揮する場となっています。今年^は2019年^{以来}、4年^{ぶり}に一般公開^を行^います。ぜひお越^しください。生徒一同、心よりお待^ちしております。

一般公開について

けやき祭は毎年2日間にわたって実施^{じっし}されます。今年^は、6月2日（金）と6月3日（土）です。

ただし、1日目は校内（生徒・職員のみ）で行われ、一般公開^{はんぱん}されるのは6月3日（土）のみとなります。古河中等生の保護者^{ほごしゃ}の方^をを含^め、1日目には一般の方の入場はできませんので、ご注意ください。

また、新型コロナウイルス感染症^{かんせんしょう}に関して、現状、一般公開^{はんぱん}を予定^{じゆんぎ}しています。ただし、感染状況^{かんせんじょうきょう}が急変^{きゅうへん}した場合は、一般公開^{はんぱん}中止^{ちゅうし}や入場の制限^{せいげん}を行う^さ場合があります。その際^{さい}は、古河中等教育学校公式ホームページや当サイトにてお知らせいたします。

あらかじめご了承^{りょうしょう}ください。

例：茨城県立古河中等教育学校文化祭HP（<https://keyaki.app>）

生成AIの活用（アクセシビリティの観点から）

- 生成AIを活用して様々な人がwebを使いやすく
 - サイトに振るふりがなを自動生成する
 - サイトをバックグラウンドに合わせて読みやすく
 - 海外の人→母国語への翻訳
 - 小学生など→わかりやすい日本語での説明
 - 年齢に合わせた内容の自動生成
 - 文字入力へのAIの活用
 - 音声入力の精度をAIを活用してよりよく

障がいの有無や年齢、国籍によらず、誰もがICT機器を使いこなせるようになり、情報格差を軽減させる社会を実現させるため生成AIなどを活用したwebアクセシビリティの向上を実現させて欲しいです